

## 子育て支援

# 子ども健やか育成宣言を

町長／日本一の子育て支援を



桑園憲一議員

桑園 「子ども健やか育成宣言」についての支援策は。

年間どの程度の予算を必要とし、いつ頃を目途に事業を実施するのか。

町長 第3子以降の保育料の軽減措置を図ります。中学生以下の子どもを持つ世帯を対象に20%のプレミアム付商品券3000万円分を発行します。6歳未満児の医療費は全額無料化します。総額で約1700万円程度。年内の実施を考えています。

## 耕作放棄地の活用策は

活用策は

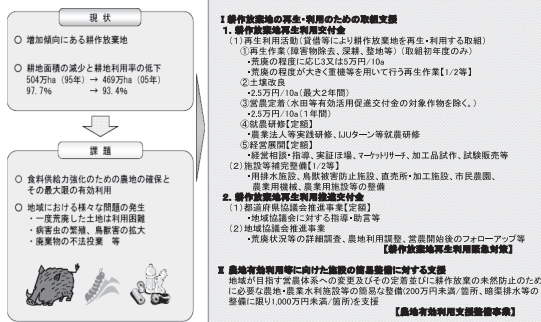
町長／有効活用に努めたい。

桑園 耕作放棄地の本町の面積は。又調査方法についてと今後の活用策について考え方を伺う。

町長 町内で約319筆で4399筆、この内に農業振興地域農用地区域内農地が526筆の50%が含まれています。調査は農業委員と農業委員会職員で実施しました。さつま町耕作放棄地対策協議会で十分協議し有効活用に努めて参ります。

## 耕作放棄地再生利用緊急対策をご存知ですか？

さつま町耕作放棄地対策協議会では、農業者の高齢化や担い手の不在等による労働力の低下により、本町においても増加傾向にある耕作放棄地の解消に向けて、次のような取り組みに対する支援策を実施しています。



協議会で発行しているパンフレット

## 医療

高度な医療体制の方策は

町長／定期的に会合を持ちたい



内田芳博議員

内田 薩摩郡医師会病院の医療体制の充実を図るため、医師会、消防署、行政は年数回の協議会を持ち、機能を高めよう。

町長 地域医療の高い理念を掲げ、高度な医療機器を整備し機能充実と医療体制を確立し、二次救急医療機能を十分發揮しながら、三次救急医療機関と連携を図ります。医療問題については、

今後も定期的に協議会を開き、施策を講じてその内容を町民に知らせます。

## 医療機器の

助成を

町長／年次的に考えてい

内田 地域医療は大変な局面を迎える事を念頭に置いて、後に悔いのない助成対策対応を示せ。



薩摩郡医師会病院

町長 医師会病院の医療機器は、耐用年数が到来し、今回の臨時交付金2965万円を活用し、外科用X線テレビ装置、人口呼吸器ほか数点を導入し、機器の充実を図ります。機器の助成は財政等も考えて、医師会と協議をしながら年次的に検討をして参ります。